



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第 23 号

2021 年 8 月 30 日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

各小中学校 夏休み補充学習会でのSPさん

8月24日から、町内の各小中学校で夏休みの補充学習会が始まりました。いろいろな学校で、SPさんたちが活躍してくれました。毎日、すべてのSPさんの活動を見に行きたかったです。「みんなどんな支援をしてくれているのだろう」「子どもたちとの関わりを楽しんでくれているかな」そんなことを思いながら、夏休み後半を過ごしていました。

私が見に行った時に活動してくれていたSPさんの様子を通信にまとめました。もっともっとたくさん見に行って、たくさんのSPさんたちと話をしたかったです。向上心の塊であるSPさんたちと話すことは本当に楽しいです。毎度新たな発見もあります。冬休みや来年の夏休みも楽しみにしています。そんな楽しい思い出の詰まった2021年度の夏休みSP活動を、通信を通じて皆さんとシェアできたらなあと思います。



【緒川小学校】

8月27日、この日はオープントイムのサポートで、竹内SPと中島SPが来てくれました。朝、さっそく受付をしてくれていました。SPさん2人で、しっかり受付をこなしていました。

中島SPは緒川小出身ということで「めちゃくちゃ懐かしい……オープントイムも楽しみ」と話してくれていました。オープントイムについては、緒川小出身の人でないと「どう支援をしたら良いだろう」と、悩むことも多いかと思います。（だからこそ、とても良い勉強になるのですが。）その点、中島SPは、オープントイムの時間に何をしたらよいか、自分の経験を生かして動いてくれていました。笑顔が素敵で、優しい中島SP。後期は、大学の講義の一環である学校体験活動として緒川小に来るそうです。その前にSP(ボランティア)として活動してくれている、とても意識の高い素晴らしいSPさんです。懐かしの母校で、伸び伸びと学んでいってくださいね。

竹内SPは、まとっている空気感がもはや先生！！現場の先生のような雰囲気があります。この日は、児童が2学期以降のオープントイムで何をするか、計画を立てるという活動でした。めあてや動機を書く時に悩んでいる児童がいました。児童「どうしよう。何を書いたらいいんだろう」竹内SP「なんでこのテーマを選んだの？」児童「(おずおずと)なんとなく……」竹内SP「そっか、そっか！なんとなく、っていう気持ちも大切なことだね！」文字だと伝わりませんが、竹内SPはすぐさま笑顔でこのように返答していました。「なんとなく」その気持ちも大切なことだと、認めてあげられる竹内SP、素晴らしい！さすがです。この「まずは受け入れる」こと、きっと現場でも大切なことだと思います。



【石浜西小学校】

8月25日から石浜西小学校で、毎日活動してくれた樋口 SP。3日間とも、1年生にしっかりついてくれています。最終日、カードで数合わせのゲームをしてきていました。“先生と一緒にできる”これは子どもたち、とても喜びます。この“一緒にやる”、“一緒に遊ぶ”ことがどれだけ大切か、どれだけ子どもたちが喜ぶか、樋口 SP も体感してくれたのではないかと思います。これもまた、“SP さんだからこそできる”ことのひとつだと思います。存分に“一緒に”子どもたちと過ごしてもらえたらと思います。

【藤江小学校】

8月30日、藤江小学校に樋口 SP と佐藤 SP が来てくれました。樋口 SP は先週まで石浜西小学校で活動をしてきましたが、今週は藤江小学校で活動をしてくれます。25日～31日まで5日間連続！お疲れ様でした。大学生だからこそ、東浦町だからこそ、いろいろな学校を見ることができます。行くことができます。それを上手く利用して、活動してくれました。「高学年の勉強、不安です」と言いながらも、学習会が始まると周りの先生の様子を見ながら、子どもたちの様子をよく見ながら、動いてくれていました。対応力抜群です。

佐藤 SP は、去年この藤江小学校で教育実習があったそうです。「校舎の中に入るのは1年ぶりです」と懐かしそうに、優しい笑顔で話してくれました。きっと良い思い出がたくさん詰まっているのでしょう。そして、実習や教員採用試験を経て、去年よりもかなりパワーアップしていました。素晴らしい支援でした。積極的に子どもたちに関わってくれていました。そして、現場の先生方にも自ら指示を確認しにいていました。言われる前に、自分から動く、聞きにいく。社会に出たらとても大切な能力です。佐藤 SP、バッチリでした。もういつでも現場でバリバリ動いていけるだろうなあ、と頼みになりました。



去年に引き続き、今年もコロナ禍での活動となりました。普段の生活でもコロナ以前のように自由には動けない日々かと思います。ストレスも溜まりますね。それでも“今だからこそ”できること・感じられること・変えられることがあると思います。SP 活動も含めて、積極的にいろいろなことにチャレンジしたり、行動したりして、貴重な大学生活で皆さんの“人間力”をさらに高めてもらえたらなあと思います。東浦町では引き続き、教員を目指す皆さんの学ぶ機会を提供し続けていけたらと考えています。もちろんコロナ対策は今まで以上に気を引き締めて、みんなで協力をしていかなければなりません。2学期からも、“今できること”と一緒に取り組んでいきましょう！